

科目名	JRN201: マスメディア論				担当教員	鈴木 規史		
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.XXを参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP及び 学修成果	DP分類	DP(卒業認定・学位授与の方針)概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	メディアの歴史と理論、ジャーナリズム、メディアリテラシー、インターネット、広告							
授業の 概要	この講義では、マス・コミュニケーションの歴史や理論、産業構造を学んだ上で、現代社会におけるメディアリテラシー、ジャーナリズムについて学んでいく。特に、今日において大きな影響力を持つインターネットは正と負の両面から読み解いていく。そのために必要なインターネット時代におけるメディア利用や、世論をはじめとした統計データの読み解き方、活用についても解説する。							
達成目標	講義を通して高いメディアリテラシーを身に付け、現代社会におけるニュースをはじめとした情報の正しい活用、取捨選択ができるようになる。							
到達目標	この講義を通じて、メディアの歴史や理論を学ぶことで、情報、ニュースに対する正確な理解、批判能力を身に付ける。特に、インターネット上にあふれるフェイクニュースを見抜くための情報判断能力を身につけることを目的とする。そのために必要なデータの読解能力、活用方法及び現代におけるSNSをはじめとしたメディア利用行動が身に付く。							
評価方法	▶リアクションペーパー(50%、最大5点×27の135点満点で採点し、割合を計算して算出)、▶ワークショップ(30%、10点×3)、▶期末のレポート(20%)							
評価基準	▶リアクションペーパー：ほぼ毎回(27回)。講義の要点を理解し、自分の意見として昇華できているかどうか。▶ワークショップ：計3回。講義の内容を元に自分の意見を整理し、発表することができているか。うち1回は広告計画の立案があり、独創性も評価する。▶期末のレポート：2000文字以上のメディアを題材とした期末レポート。レポートの書式に従い、講義で学んだ理論や概念を用いて自らの意見を述べているかについて評価する。							
準備学修 の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	オリエンテーション マスメディア論とは何か	授業の紹介・講義、リアクションペーパー	参考書の紹介
2	コミュニケーションとは何か	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
3	マス・コミュニケーションの歴史①	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
4	マス・コミュニケーションの歴史②	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
5	マス・コミュニケーションの社会的機能	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
6	マス・コミュニケーションの効果研究①	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
7	マス・コミュニケーションの効果研究②	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
8	マス・コミュニケーションの効果研究③	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習、ワークショップ準備
9	ワークショップ①	ワークショップ	講義の内容復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	マスメディア産業論①：新聞	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
11	マスメディア産業論②放送	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
12	マスメディア産業論③出版	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
13	広告①：広告とは何か	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
14	広告②：マーケティングとは何か	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
15	広告③：広告と統計データ	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
16	広告④：視聴率調査及びメディア関連調査	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
17	広告⑤：インターネット時代の広告とは？	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習、ワークショップ準備
18	ワークショップ②	ワークショップ	講義の内容復習
19	情報社会とインターネット1：インターネットの歴史	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
20	情報社会とインターネット2：インターネット時代のマスメディア	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
21	情報社会とインターネット3：インターネットの個人利用	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
22	情報社会とインターネット4：フェイクニュースとは何か？	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
23	情報社会とインターネット5：インターネットにおけるジャーナリズム	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
24	メディアリテラシー	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習、ワークショップ準備
25	ワークショップ③	ワークショップ	講義の内容復習
26	個別テーマ①：メディアと災害	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
27	個別テーマ②：メディアと政治	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
28	個別テーマ③：ジャーナリズム倫理	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習
29	個別テーマ④：グローバルメディア論	講義・リアクションペーパー	講義の内容復習、最終レポートの準備
30	総括	講義（映像）・リアクションペーパー	講義の内容復習

テキスト	指定テキストは使用せず、本シラバスに掲載の参考書や講義中に紹介する追加の参考書を元に作成した電子資料を掲載する。受講生は各自ダウンロード、印刷などで持参すること。
参考書	黒川貢三郎『マス・コミュニケーション論』南窓社 児島和人、竹内郁郎、橋元良明『メディア・コミュニケーション論』北樹出版
その他特記事項	新聞、テレビニュースだけでなく、インターネットのニュースサイトなども積極的に見ておくこと。オススメのURLは初回授業で紹介する。